

(様式5)

調査報告書

外部評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日	2007年11月30日
調査実施の時間	開始 10時30分 ~ 終了 17時00分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホームみなせ 号館 (大阪府)
-------------------	------------------------

評価調査員の氏名	氏名 南 ヤエ 氏名 櫻井 美智代
事業所側対応者	職名 ホーム長 氏名 石上 晴江 ヒアリングを行った職員数 (2)人

記入方法

「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。

「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけてください。

項目番号について

外部評価項目は30項目です。

「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。

「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【評価実施概要】

事業所番号	2773900291
法人名	日本ロングライフ株式会社
事業所名	グループホームみなせ 号館
所在地	大阪府三島郡島本町水無瀬2-1-6
	電話 075-963-4478
評価機関名	特定非営利活動法人エイジコンサーン・ジャパン
所在地	大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟9階
訪問調査日	2007年11月30日

【情報提供票より】(19年10月4日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 6 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	24 人
職員数	8 人	常勤 8 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 8 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	4 階建て, 2 ~ 4 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	100,000 円	その他の経費(月額)	126,000 円
敷 金	有(7,800,000 円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 2,000 円		

(4) 利用者の概要(10月4日現在)

利用者人数	24 名	男性 3 名	女性 21 名
要介護1	4 名	要介護2	5名
要介護3	4 名	要介護4	6名
要介護5	5 名	要支援2	0名
年齢	平均 84 歳	最低 64 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	南川クリニック、トヨシマ歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

阪急水無瀬駅徒歩5分のところに位置し玄関から純日本建築のたたずまいである。調度品に工夫が凝らされていてトータルインテリアに腐心している。庭の池には鯉や金魚、別の池にはつがいの鴨が飼われている。庭木もたくさんあり、果実がなるものも数本あり入居者は散策や果物の収穫などを楽しめる。ホームは入居者の尊厳を大切に、認知症の進行の緩和、自立した日常生活を営むことを目指して運営している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回は特に改善を要する指摘はされていない。外部の研修を受講できる組織体制の整備を求められていた。社内研修が充実しているので現場介護職員の社外研修が受講出来ていない。視野を広げる意味からも社外に出て研修を受ける機会を作ることを期待する。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p>
	<p>現場職員の意見を聞いて各ユニットのフロアリーダーが集まりホーム長と共に各項目ごと意見を集約して作った。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議に家族の参加は多いが地域の参加は少ない。地域の行事に参加したり、ホームに月1回老人会、町内会、近くのケアマネージャーに来てもらってお寿司の会などを開いている。このメンバーに運営推進会議に出てもらうように働きかけることを期待する。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の不満は相談室を常設して汲み取ることはしているが、言いにくい家族もいると思われる。利用者により良い介護を目指して家族の声を汲み取る努力を期待する。</p> <p>職員はスタッフ同士協力でき、自分の親に対する気持ちで介護をしている。職場は労働条件も整っていて満足している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p>
	<p>地域のお店などには常時ホームの利用者と出かけて顔見知りになっている。地域の代表者の運営推進会議出席をしてもらう努力を引き続きされたい。</p>

2. 調 査 報 告 書

主任調査員氏名 南 ヤエ / 同行調査員氏名 櫻井 美智代

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームとしての理念 「グループホームのしおり」があり、入社時のガイドブック「グループホーム（ユニットケア）」として掲載し研修を受けている。		ホームの理念は廊下に掲示されている。玄関に木製「楽」の浮き彫りがかけてあった。「楽」という理念の下「楽しいホーム・楽しい高齢生活」を目指している。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営の基本理念を目標とし朝礼時や勤務開始に唱えている。		理念の唱和が形式的に流れることなく、日常の介護の精神として理解を深めることを更に続けられたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会の方々や地域の役員の方々を招待し、お食事会やお茶会などを行っている。		地域の老人会・自治会役員に施設を開放したり、通所サービスの利用者とホームの入居者とも交流できる機会を作っている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホームランク評価制度（ランキング表） 内部監査（監査指摘項目表）コンテスト、ウィークリーニュースは発行されている。		経営母体の評価制度はそれなりに役目は果たしているが、介護サービスにまで踏み込んだ項目はない。利用者の生活の質を高めるスタッフの自己研磨につながると申し分ない。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	話し合った内容は、議事録を作成し家族全員に送付している。		運営推進会議地域の参加は少ないが家族の参加は多い。今後地域の人参加をしてもらう様に引き続き働きかけられたい。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	運営推進会議の際、役所に日程を通知し参加してもらうように連絡を取っている。市の相談員が3ヶ月に1回ホームに来られ、お客様と話をし内部を見学などを行っている。		市町村への働きかけの結果、最近では役所の参加も増え始めている。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月5日に発送。1ヶ月のホーム全体の報告やお知らせ(ホーム長)、利用者個人の報告(担当者全員)、金銭管理(ホーム長、事務担当者)、写真、情報誌(2ヶ月に1回)を送っている。		家族へはきめ細かく報告されている。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	ホームでは主にホーム長、ケアマネージャーが窓口。ホーム長不在時は代行を立てる。本社では、お客様相談室を設けている。ホームで苦情を受けた際は、報告書にて報告。早期解決を図る。		それなりに不満を持っている家族もいる。親がお世話になっているところから言い出しにくいと考えられる。さらに利用者の目線で日々取り組んでいかれると申し分ない。
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	管理者やケアマネージャーが代わる際、引継者や入居者の家族へ説明するが、職員の場合その都度説明はしていない。入居者に関してはあえて混乱を避ける意味で挨拶しない様になっている。		家族の不満にスタッフが良く変わるというのが数件あった。スタッフの移動に関し、次のスタッフとの人間関係を前もって構築しておくなど何か良い方法を考えてみられたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入社時1ヶ月、2ヶ月目研修、長年勤務者にはブラッシュアップ研修、担当制の研修（育成やリーダーなど）又専門職の委員会や研修がある。</p>		<p>組織全体として社内研修は行き届いている。スタッフが研修に参加しやすい労働条件になっている。認知症の理解だけでなく、幅広い知識の習得なども取り入れていけると申し分ない。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同会社の運営する事業所との交流以外は無い。</p>		<p>同業他社との交流を図ることで、視野を広げさらに良い介護につながることになる。さらに、社外の職場を知ること、自分の職場の良さを再認識し勤労意欲も更に増進する。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>以前利用されていた事業所（デイサービス、ヘルパーステーション）との連携や病院、自宅へ訪問を重ねる。入居後も落ち着いた場合は家族と密に連絡を取る。一週間に1回自宅へ帰られる方、遠方の家族から一週間に1回連絡を入れていただいている方もいる。</p>		<p>ホームに馴染むまでは、利用者に寄り添って強制的にならないように配慮されている。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は介護職をサービス業として理解し、ADLだけでなく心の変化にも重きを置くケアを実施している。そして、それを申し送りやケアダイアリーを利用し、良い事も悪い事も共有している。</p>		<p>介護現場のスタッフは若い人が多い。高齢者を理解するうえでも、近い年齢の相談相手や話し相手の存在が望ましい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>グッドフィーリングシートの作成</p> <p>利用者個人の歴史的背景・性格・嗜好品・ホームでの暮らし・医療への意向・ADL・生活リズムなどの把握に努め記録して職員が共有している。</p>		<p>管理者の説明から、それぞれの利用者の生活歴などは把握されていると窺えるが、他のスタッフも同様に把握され、対応できるようこれからは期待する。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>各フロア小集団が有り、3人～4人(キャプテン1名)のスタッフに対して4～5人の入居者を割り当て、その中で1～2名のスタッフで2～3名の入居者の課題、ケア変更の案を提示し、話し合っていく。(フロアミーティングから上がった内容をケアマネージャーが中心に検討しケアプランを生かしていく)</p>		<p>全社的に組織体制が出来ていて機能的運営はされている。ホームの特徴を生かし、利用者に添った介護計画を今後とも継続されたい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回のモニタリング、半年に1回のケアプランの見直しを行い、内容を家族へ確認し署名、捺印をいただく。</p>		<p>定期的介護計画だけでなく利用者の変化を見逃さないよう、これからもきめ細かい介護計画作成を継続されたい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>介護保険外サービスの付き添いや、家族の宿泊が出来る。</p>		<p>施設はスペースに余裕もあり家族が訪問し易く、宿泊出来るように配慮されている。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提供医療機関（往診専門）以外に通院を希望している方に関しては継続出来るように支援している。又緊急時の搬送先または搬送されたくない病院があれば希望を聞いて対応している。（入居者緊急時、重度化対応）</p>		<p>特に家族からの不満はない。</p>
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>今まで、本人を交えた話し合いがあまり出来ていない。重度化した際、お元気だった頃利用者本人がご家族に話されていた内容が方針に反映するようにしている。（ケアダイアリー）</p>		<p>重症化したときの対応を家族と話し合うこともあるが、書類としては残っていない。現在事業母体で統一した書類を作成することを検討されている。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>社員手帳と朝礼進行表</p>		<p>プライバシーの確保は職員には入社時・研修時に説明、社員手帳にも明記している。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>リズム表（体調管理表）を作成して利用者の体調に合わせて支援している。</p>		<p>体調管理の中に、気分的なことも観察されて支援されると尚良い。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理日、菓子作りリズム表、グッドフィーリングシート		食事介助を受けている利用者に対しても、楽しい食事になるような言葉掛など、きめ細かい介助を続けられたい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週に2回と決めているが、利用者の希望に添って体調さえ良ければ入浴回数は増えることもある。		各ユニットで週2回を目安に入浴をしている。日曜日は通所サービス用の大浴場で複数の入居者同士で入浴を楽しむことができる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来る利用者には各自得意なことを分担して家事を手伝ってもらっている。(例、米研ぎ・食事後の食器洗い、エレクトーン、共用部の掃除)		入居者を前に話をする元住職や俳句の話しをする人、リコーダーを吹いて皆に聞いてもらったりする人など多彩な才能が生かされ、利用者は充実した時間を持っている。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調の許す限りできるだけ外出をしている。		近所に買い物に行ったり、食事に行ったりいつでも、施設内に限らず、外出の機会もあり行き届いている
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はない。門扉のみ電気錠(暗証番号)		各フロアも行き来は自由である。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署に来て頂き消防訓練を実施		普段から訓練をしておくことが理想的といえる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自ら水分接種の要求が出来ない方には声掛け(水分補給の時間を決めている)。医師の指示がある方にはリズム表にて水分量のチェック。糖尿病の方には食事療法を行う(糖尿病食はだしておらず、量を調整している)。リズム表		楽しい日常生活をモットーに水分の摂取は医師の指示がない限り自由に行っているとの話であるが、高齢者は水分欠乏を感じにくいのでそれなりに促すことを望む。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	バリアフリー、フロアの中心にキッチン。窓は光を取り入れ易いよう大きく、又造花ではなく本物の観葉植物やお花を飾る。建物の雰囲気や落ち着いた雰囲気を壊さないよう、家具や装飾品も大切に選んだ物を置いている。		ホーム内は高級感あふれる調度品でしつらえられている。しかし整理整頓しすぎているのも使いにくいのではと考える。ホーム1階の広いリビングを日常的に利用し、利用者間の交流やくつろげる場所にするを期待する。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	エアコン、ペット、照明器具は備え付けだが、それ以外は、利用者が使い慣れたものや家族が購入された物を置いている。		各居室はそれぞれ思いのものを持ち込んでいて個性的である。

は、重点項目。